

2013 年 4 月 4 日
株式会社タジマモーターコーポレーション
代表取締役会長 田嶋 伸博



浮揚式津波対策用シェルター SAFE+（セーフプラス）発表

株式会社タジマモーターコーポレーション（代表取締役会長 田嶋 伸博）は、浮揚式津波対策用シェルター SAFE+（セーフプラス）を発表いたします。

3.11 以降、津波の威力は周知の事となり、今日もなお、南海トラフ地震をはじめとする様々な地震の襲来が予想されています。しかしながら、海に囲まれた日本では津波と常に隣り合わせでありながら、かつての大津波の後も人々は利便性を求めて海のそばに戻っていった歴史的経緯があります。

日本はもとより、環太平洋の国々も同様の問題を抱えており、この問題に対して、田嶋伸博がモータースポーツで培った 40 年の経験を活かして導き出した回答が「浮揚式津波対策用シェルター SAFE+（セーフプラス）」です

産業の確立に沿岸部の平地は重要であり、コストや立地条件の面から内陸への移転が困難なケースが多くあります。3.11 以降も思うように高台移転が進まず、不安を持ちながら生活をおくっている多くの方々が安心して暮らせるように、あるいは、一般市民を避難誘導した警察・消防・学校関係の方々が最後に逃げ込む場所として非常に有用であり、津波対策の切り札として期待されているのが浮揚式津波対策用シェルターです。

【製品概要】

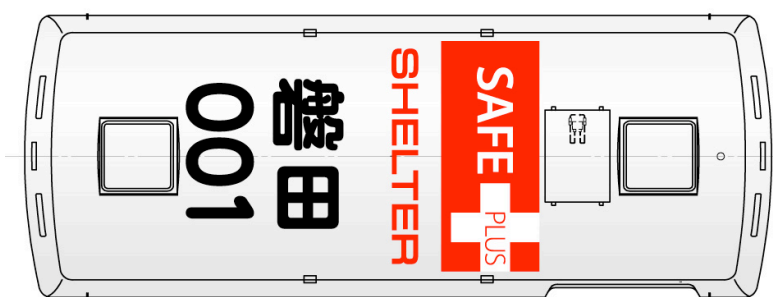
「浮揚式津波対策用シェルター SAFE+（セーフプラス）」は、津波襲来の際には内部に人が避難し、水面に浮いて救助を待ちます。浮揚式津波対策用シェルターとして専用設計されているため利便性とコストパフォーマンスが大変高く、普及へのハードルを下げた画期的な製品です。

◆性能・機能

- ・収容人数:20 名(シート数)
- ・サイズ:全長 6.16m × 全幅 2.33m × 全高 2.3 m
- ・日常生活の場にあっても違和感や威圧感のない外観
- ・平底のため設置が容易で安定性も高い
- ・床下に独立気泡の浮体が入れてあり、船底に穴があいても沈まない「不沈構造」
- ・転覆してもすぐに元に戻る強い復原性
- ・浮いた状態でドアを開閉でき、救助活動も可能

◆利便性

- ・ドアが低く、歩行困難者や車イスでも素早く乗り降りできる
(※オプションのスロープを使用し、車イスごと乗り込み可能)
- ・平常時は、集会場や備蓄倉庫、勉強部屋、イベント時の休憩所等としての利用が考えられる汎用性の高さ
- ・車 1 台分の駐車スペースほどの空きスペースがあれば、あらゆる場所に設置可能
- ・4トン車(ユニック付)での運搬を想定したサイズ・設計



Top View



Side View - Door Side



Front/Rear View

【早期普及を目指したビジネスモデル】

シェルターの普及によって、人々が安心・安全な生活を送れることを第一義に、早期普及を実現するビジネスモデルを策定しました。

- ・タジマ 1 社での単独展開では、今世界で必要な数を短期間に揃えることは困難であり製造協力していただける企業を広く募集する。
- ・オープンソースとして製造ノウハウや情報を共有し、高品質な製品を複数の場所で安定して製造することができるようにする。
- ・浮揚式津波対策用シェルターが必要とされる場所で製造販売をおこない、全国各地で産業創出に貢献する。

【今後の予定】

試作機による試験実験および量産化検討をおこない
2013 年量産 1 号完成引き渡しを目指す。

【製造計画台数】

2013 年:100 台
2014 年:1,000 台
2015 年:2,000 台

【お問い合わせ先】

株式会社タジマモーターコーポレーション
浮揚式津波対策用シェルター SAFE+事業部
〒438-0213 静岡県磐田市竜洋稗原 665
TEL 0538-66-0020 FAX 0538-66-7583 E-mail info@tajima-motor.com
(広報担当/石倉智之 pr@tajima-motor.com)

【画像資料】

外観(ドア側)



室内

